

・戦前天皇制に関して

①天皇の政治関与を検討する研究

- 井上清『天皇の戦争責任』（現代評論社、1975年）
山田朗『大元帥・昭和天皇』（新日本出版社、1994年）
山田朗『昭和天皇の軍事思想と戦略』（校倉書房、2002年）
ハーバート・ビックス『昭和天皇』上、下（講談社、2002年）

②天皇制の構造を検討する研究

- 安田浩『天皇の政治史』（青木書店、1998年）
増田知子『天皇制と国家』（青木書店、1999年）
永井和『青年君主昭和天皇と元老西園寺』（京都大学学術出版会、2003年）
伊藤之雄『昭和天皇と立憲君主制の崩壊』（名古屋大学出版会、2005年）
森茂樹「戦時天皇制国家における『親政』イデオロギーと政策決定過程の再編」
（『日本史研究』454、2000年）
茶谷誠一『昭和戦前期の宮中勢力と政治』（吉川弘文館、2009年）
茶谷誠一『宮中からみる日本近代史』（ちくま新書、2012年）
加藤陽子『天皇の歴史第8巻 昭和天皇と戦争の世紀』（講談社、2011年）

- 鈴木正幸『近代天皇制の支配秩序』（校倉書房、1986年）
鈴木正幸『国民国家と天皇』（校倉書房、2000年）
波多野勝『裕仁皇太子ヨーロッパ外遊記』（草思社、1998年）
坂本一登「新しい皇室像を求めて」（『近代日本研究20 宮中・皇室と政治』、1998年）

- 池田さなえ「近代皇室の土地所有に関する一考察」
（『史学雑誌』第125巻第9号、2016年）
加藤祐介「戦間期の皇室財政」（『史学雑誌』第124巻第11号、2015年）

③天皇制の思想・文化に関する研究

- 安丸良夫『近代天皇像の形成』（岩波書店、1992年）
飛鳥井雅道「近代天皇像の展開」（『日本通史』第17巻、岩波書店、1994年、
飛鳥井『日本近代精神史の研究』京都大学学術出版会、2002年収録）
飛鳥井雅道『明治大帝』（筑摩書房、1989年）
羽賀祥二『史蹟論』（名古屋大学出版会、1998年）
高木博志『近代天皇制の文化史的研究』（校倉書房、1997年）
高木博志『近代天皇制と古都』（岩波書店、2006年）

④他分野の影響を受けた研究

- 多木浩二『天皇の肖像』（岩波新書、1988年）
タカシ・フジタニ『天皇のページェント』（NHK ブックス、1994年）
佐々木克『幕末の天皇・明治の天皇』（講談社、2005年）
原武史『可視化された帝国』（みすず書房、2001年）
長志珠絵「天子のジェンダー」（西川祐子ほか編『共同研究男性論』人文書院、1999年）
若桑みどり『皇后の肖像』（筑摩書房、2001年）
片野真佐子『皇后の近代』（講談社、2003年）

⑤昭和天皇の伝記

- 古川隆久『昭和天皇』（中公新書、2011年）
伊藤之雄『昭和天皇伝』（文藝春秋、2011年）
高橋紘『人間 昭和天皇』上、下（講談社、2011年）

・戦後天皇制に関して

①敗戦直後の政治史について

- 高橋紘・鈴木邦彦『天皇家の密使たち』（徳間書店、1981年）
中村政則『象徴天皇制への道』（岩波新書、1989年）
松尾尊兌「昭和天皇・マッカーサー元帥第一回会見」（『京都大学文学部研究紀要』29、1990年、松尾『戦後日本の出発』岩波書店、2002年収録）
吉田裕『昭和天皇の終戦史』（岩波新書、1992年）
針生誠吉・横田耕一『国民主権と天皇制』（法律文化社、1983年）
横田耕一『憲法と天皇制』（岩波新書、1990年）

②昭和天皇の政治観・政治関与などについて

- 秦郁彦『裕仁天皇五つの決断』（講談社、1984年）
渡辺治『戦後政治史の中の天皇制』（青木書店、1990年）
豊下楯彦『安保条約の成立』（岩波新書、1996年）
後藤致人『昭和天皇と近現代日本』（吉川弘文館、2003年）
後藤致人『内奏』（中公新書、2010年）

③象徴天皇制の思想的基盤について

- 赤澤史朗「象徴天皇制の形成と戦争責任論」（『歴史評論』315、1976年）
米谷匡史「津田左右吉・和辻哲郎の天皇論」（『天皇と王権を考える』第1巻、岩波書店、2002年）
赤坂憲雄『象徴天皇という物語』（筑摩書房、1990年）

④象徴天皇制展開過程に関して

- 南博「天皇制の心理的地盤」（『思想』第336号、1952年）
清水幾太郎「占領下の天皇」（『思想』第348号、1953年）
松浦総三『天皇とマスコミ』（青木書店、1975年）
児玉隆也『君は天皇を見たか』（潮出版社、1975年）
牛島秀彦『ノンフィクション 皇太子明仁』（朝日新聞社、1987年）
猪瀬直樹『ミカドの肖像』（小学館、1986年）
坂本孝治郎『象徴天皇制へのパフォーマンス』（山川出版社、1989年）
安田常雄「象徴天皇制と民衆意識」（『歴史学研究』621、1991年）
吉見俊哉「メディアとしての天皇制」（『天皇と王権を考える』第10巻、2002年）
ケネス・ルオフ『国民の天皇』（共同通信社、2003年）
石田あゆ『ミッチー・ブーム』（文春新書、2006年）

⑤近年の研究

- 富永望『象徴天皇制の形成と定着』（思文閣出版、2010年）
河西秀哉『「象徴天皇」の戦後史』（講談社選書メチエ、2010年）
河西秀哉『明仁天皇と戦後日本』（洋泉社新書、2016年）
舟橋正真「昭和天皇訪米決定の政治過程」（『歴史学研究』第908号、2013年）
瀬畑源「象徴天皇制の形成と展開」（『岩波講座日本歴史』第18巻、岩波書店、2015年）

- 茶谷誠一『象徴天皇制の成立』（NHK ブックス、2017年）
原武史『「昭和天皇実録」を読む』（岩波新書、2015年）

- 茂木謙之介『表象としての皇族』（吉川弘文館、2017年）
河西秀哉『近代天皇制から象徴天皇制へ』（吉田書店、2018年）